

ペスタロッチー教育賞 受賞者紹介

花園大学 客員教授 みず たに 水谷 おさむ 修氏

1956年横浜市に生まれる。3歳から11歳まで山形の祖父母にあずけられた。上智大学文学部哲学科在学中にヨーロッパに滞在し留学を志すが、祖父が倒れたため帰国して介護にあたる。1983年に横浜市の高校教員となり、1992年には自ら希

写真も処分された。横浜で教員をしていた母親は仕事を続けるために、実家に息子をあずけるしかなかった。山形の祖父母の生活は楽ではなかった。両親のいない子に周囲は冷たかった。

そしてまた、水谷氏も学校や教師への不信感を抱きながら育った。中学生のとき、クラスメートに対する教師の暴力に異議を唱えた。その教師は氏を廊下に出し、拳を差し出した。全力で走って頭でぶつかってこい、ということだった。別の教師が「おまえがぶつかってくるのだから、体罰じゃないだろ」と言った。氏はその不条理感と怒りから、止めろと言われても何度も強く教師の拳に頭をぶつ